

では現在施設造成診断を実施中でございますが、商業者の方々に手教ぐういアンケートをとっておりますが、回収があまりほかばかりでございます。商業施設造成診断については、ごだに考えていべきものでは、というふうに担当課長として考えていたわけでございますが、大変ご熱心にご勉強いただきまして、その点、厚くお礼申し上げます。

さて、質問の内容のビジョンと内容でございますが、これを所望しするときにどうしても私どもがもちまわった商業診断から施設造成診断にいたる目的などか、それからその内容につきましても、お話ししなければならぬと思っておりますので、その点、若干その点についてご説明を申しあげたいと思っております。

以米議員の皆さま方、それから一部商業者の方々から、福島の商業者方々というものが、南の北のわけでございますけれども、なかなか現実に抽象的な意味でありましても、これを解明することを、なし得ませんで、その点、将来五川八木等々の商業地帯問題を、含めまして、福島市の商業というものが、

どうあつたらいいか、それから商業者方々というものが、具体的に解明するといつたい何んなのかという問題が、私どもが商業者の方々に、りかめ、行政側からやろうということ、始まったわけでございます。先任の課長から説明があつたかも知れませんが、私ども、そういう目的をもって始めたものでございますが、四年度度で、ご存知の広域商業診断の報告書ができて、その中で二つばかり、概括的に分れて、話しをきいております。一つは、単一（商店街）の現状と対策、これはすでに、配布してございますけれども、各商店街別の冊にして、その中で、八ヶ岳項目の細かい改善勧告のようなものが出ております。もう一つは、これをふまえた上で、五川、八木と競合し、福島市の商業というものが、この地域の中で一つの大きな役割りを果たすためにはどういたるのか、ということも、揚げております。それから先ほど、指摘になりました、まいた商業街区というものがあろうかと思っております。大体的には、一般的に私どもの仕事では、広域商業診断というところを、商業者にお見せしたところではない、なつてしまつたのではなからうかと思いま

すが、さらに力入者の目から見た福生市の将来、商業の将来、
 構想というものについて専門的な立場から見たらこうなるんか
 というものを示した方がより親切ではないかと考えたわけでござ
 います。そこでこの中について何を造った方がいいか、どういふもの
 を造れば非常に適切だとか現在の商業にマッチするんだという
 問題が出て、さらに一歩進めて広域診断のつぎの段階として
 施設造成診断を張ろうということ、これはあくまで教本的
 なものでございまして、各校の教本と違ひまして福生市
 自体がやはり私どももこれより商業界の方々が一緒に勉強
 して一つのかつこの素材になるのではなかろうかと考えまして作り
 つつあるものでございます。その街区の中に単に何かを造
 るという、とではたしかに指^痛導のとおり夢物語りのようなもので
 ございまして、できる限り現実的に即したもので、さらにこれ
 が研究の予地のあるものというところで現在私どもの方では国道
 と奥妙戸街道、それの隣接する中央商業会、銀座
 商業会の設置づけとその内容はどうするか、さらに東口と



の関係はどうするかということ、この中に入しまして専門家の方に
 オーダーしてございます。その内容につきましては当然福生
 市の地域の商業界のシンボルとして商業者にふさわしいよう
 な規模であるとか配列、店まつれ、品えろい、問題また
 張屋を含めた一つの組織、構成のようなものを考えようという
 かという方向に現在進めて行くわけでございます。

内容いたしますとただいま申しあげましたように、店の種類で
 あるとか構成であるとか品物であるとかそういうものを商店街的
 にとりあえず基本的には国面を引くということになっております。
 いずれにいたしましてもこの問題を私どもで出し方いかんによつては必
 ずかしい問題になることとは指摘のとおりでございますが、むきな
 限り行政が経済のええとて努力し皆さん方に役につくような
 研究材料として提示していきたいと考えっております。
 以上を羅ばくしてございまして、質問の回答にかえさせていただきます。

ニテ番(岩田博君)

私の質問は、一点からう、大抵まで非常に項目が

めん、答へる者に対して非常に錯覚をたしやすいので、一項目から大体おたづねしていきたいと思ひますので、ご承願いたしたいと思います。

官公署の誘致については市長の答へで納得いたしました。今後ともご奮闘をお願いいたします。またおれわれ議員も勲なから応援はおしなはつてまいります。

お八五の武蔵野熊川地区について、ただいま市長から市道一号线なりかに水路の沿線の狐や舗装といふことをいさださまいたが、これは間違ひないものと信じます。

それから武蔵野地区の補助道一号线につきましても去年の九月定例会だと思ひますが、私が是非この道路を舗装してふれと申しあげましたところ、これは防犯庁の補助金によつて狐やばうに側溝までつきた完全舗装をするんだから今少しまゝふれー、というご答へでございましたが、はたしておれはたち切れになつたのか、それから先ほど私も申しあげましたとおり非常に武蔵野熊川地区は基地の被害を全無



的に受けてゐる市民に対して一般質問で申しあげましたとおり、暖かい目で見えていたのかはわかりませんが、思ひます。夜にも今回補正予算に出てまいります体育館の建設費一億四千六百万という非常に膨大な目ざめるような予算でございます。過去福島市は一億米満ち地財法を受けた苦い経験があるのでございませう。夜にこの体育館建設の晩には何人の市民がご利用なさるか私は競輪事業の組合議員でございます。幸ひにして本年より競輪の収入が一億六千万円入るまいります。この金を有意義に使つていただきたくおれわれは奮闘した次第でございませう。私も競輪は反対でございます。いふう反対であるもはずどこかの市でやつてしまつておれでございます。

そういう部分の金を有意義に使つていただきたく質問したわけでございます。今回の一億六千万円という膨大な体育館の資金もあり、二〇年に一億円を消化するというこの体育館の資金にひいて、夜にも六分の一の五千万円を武蔵野熊川地区に投資してごらん下さい。どうぞの武蔵野地区の強民が思ひ

意を被るか。現状に於ける加美平区画整理に於きましても
何もなにかうごんごん進行できません。現在武蔵野地区に
きましては私道公道入り交るものが分析され、いさづまり、
曲った道、私道につき文入禁止、あのぶざまな経過があらう
この福生市に、福祉センター、体育館建設等はなやかな
影にかんれしあの地域の人たちがどれだけの迷惑を及ぼしているか
理事者はご存知ないと思ひます。武蔵野地区の路地
路地を歩いてごらんなきやまし。ス憶河という大金はわめめと
無駄には使えなないと思ひます。ですから私は市長は来年度
候補されるならば是非とも武蔵野地区の開発に一億でも
一億五千万でも投入するんだという声明をするならばあえて
私もご支持する次第でございます。

以上の点につきましては答へ願ひたいと思ひます。

。市長（石川常太郎君） 体育館についてでございますが、大体
ほかの市の方うすとか、それから福生市の現在というの団体のよう
すをきまして、現在の方うすをきまして、想定は年十万人ぐら

いの収容者を予定しております。防犯庁の武蔵野地区におり
る道路につきましてはたち切れではございせん、これは五日市街
道の非常道にこんでおりますので、やも狭いもので、ですから五日市
街道にかりや合せましてお考えをいたしてあるわけでございます
す。でございますから速急にこれをやれということはどうか
と思ひてあるわけでございます。

それから体育館につきましては、これは一郡のものを使うとい
うことではなく、実は自治省から厚生省にまゐりまして福祉事業
でございます。でございますから起債の方も福祉についてあり
ます。単に体育だけではなく福祉厚生という意味で建て
るわけでございます。ですから、国にのきましても大変
奨励をしておりますわけでございます。福祉というものが一郡のもので
なく、もちろん一郡も必要でございます。一郡、全体の福祉とい
うことが、これは大切でございます。全体の福祉ということ
考えた場合には体育館が一番おきかであるという考え方で
あります。これは市だけではなく、上級官庁もそういう考え

なるわけでございます。

武蔵野地区につきましても、防犯庁と話し合ひ、五月市街道の
の拡充、あるいは道路設置の変更等の問題がございますので、
今少し時間をお貸しいただきたいと思つた次第でございます。

○ニヤ(番) (岩田博君) 体育館につきましても、今会期中に特別委員
会が構成されると思つたので、この点はよく承知いたします。

武蔵野熊川開発につきましても、ただいま市長からお話しがござ
います。この点に對しましては、私も何回も申しあげま
したとおり武蔵野強民に對して理事者、われわれ議員も心から
謝罪しなければならぬと思つたので、今後私も訴すならば、

地元議員と相談さえ、もう一度五月定例会に預問させて
いただきます。市長が約束いたしました補助道、その線はおよそ
いたでございますね。

○市長 (石川常太郎君) 本年はあのままに補正したいと思つて
います。○ニヤ(番) (岩田博君) それより用水の湛滞線の道路は拡充舗
装はいつ頃になるのか。

でございます。なるほど膨大な予算がかかりますので、なかで
きまさんりいとも、八億円といたしまして、八億三千円の内、起債を
いたしまして、たかり自己財源が八億三千円、二年計画で
ございます。競輪が八億四千円の内、八億四千円を定めてございます。かり
競輪の収入が五分にあうという見通しのもとに考えをため
たわけでございますが、特殊な建築でございますので、物価
上昇の今日でございますので、大変毎年建築単価が上つてま
りますので、一年遅れますと、相当遅れてくるということござい
ます。でございますので、なるべく金のかかるものはやはり早く造
つてしまいたいというところになるわけでございます。まして下水道の工事
がひかえているわけでございます。下水道の着工とありますと、相当
の資金がこちらにはかかりますので、この前に市とある程度の施
設、体育館とか図書館、あるいは市民会館というものは造つてしま
いたい。最後には下水道と一緒に造つていただきます。下水道の
かあまり投資しない時期になるべく早く造つてしまいたい。それ水
にはやはりなるべく金のかかる施設を造つてしまいたいということに

○市長（石川常太郎君） 用水路の下水路化につきましては、
其川市との関係があり、正式には申し込んでおりませんが、
強制的には申し込んでおりますが、大体メートルぐらいあり、
距離数もありますけれども、是非やりていただきたいと思
つております。

○ニヤ（番）（小石田博君） ただいまの答弁である程度了解いたし
ます。排水路がはいといいます。あそこには残堀り川に通ず
る西砂川排水路というものがございしますが、あそこは起伏の多い所
であり排水計画はむずかしいと思ひますが、事務局においては
検討のうえ来年度の当初予算にもり込んでいただくようお願
いたします。

次に東部開発につきましてご質問申しあげますが、先きほど
ご質問申しあげましたとおり、三ノ号線の延長でございます
が、今の課長の答弁によりますと今後、三ノ号の区画
整理方式に對し、私の原ヶ谷戸町内にござりまするは区画整
理方式は反對であるという声の多いわけでございます。私も

指導的立場にありながら区画整理方式でやりたかつたわけ
でございますが、私も地域強民の代表でございます。私の声
だけを反映するわけにはいかないわけございまして、地域の声
を反映させるのが、代議員だと思ひます。今回の区画整理
方式に對しまして私は何回も原ヶ谷戸強民にご出張をいただ
いて懇切にね、説明をいただくならば協力をおしなないつ
てもございしますが、このまま放置するならば私は加美平区
画整理の反對同盟よりもっと強硬な反對同盟の指導者
になるかも知れませんのござう承のほどお願いたします。
それから多摩河原開発につて先ほど課長は公社から具
体的な話しがはいとわつしやいました。過日新聞にも出ま
した。公社が債権が四万九千円になるという高家債でなく、
一般所得者も入れるような大衆的な国債にしたいだんよう
を要望を申し上げておきます。

商業診断につきまして課長から説明がございすた。この
商業診断の話しも聞いた市民から、市はあまりにも現度

ばなれした構想をもっている。夢物語語りだと、もっと小さいことでもできるものか、何十億かかるかわからないような構想を打ち出してわれわれは今後商店経営をどうした方がいいか迷ってしまうと、これはあくまで構想である。できるものを早くからアドバースを上げられては市民はうばいしてしまうわけであります。私は初めて昭和十八年に所議会議員に当選したときに、やはり市内のクラブで東区区画整理について説明会を開いたわけでございますが、東区についてもう何年もたつております。その間正直な人はこぼ道路が人々の店舗の改造はしななんだということを聞いておりました。そのときに私があなたはいつできるかまだわからなんだと、みんなことを考えなければならぬといひなひかと、かまわず店を造りなさいと強引に店舗を造らせたんです。それが今はもうもとがあがっているんです。むしろ市民に発表する前に必ず、三年後には完成するというような、三年先のこと、アドバースを上げられたんは非常に迷惑な力強いなと思っています。ゆつくり構

想をぬり、これならできるといふ段階に入ってから市民に発表する方がいいが、三年先先だかわからないものを絵図面をかかせてそれを発表したら市民に迷惑を被るか考えていた方がいいと思います。

以上で私の一般質問は終わります。

議長（木次郎男）次に小孫菊三君

（二番小孫菊三君登壇）

。八番（小孫菊三君） 貴重な時間をいただきまして、中小企業対策について質問させていただきます。

ドルショックによる中小企業に対する目次政策はどう考えているか市長に質問したいと思っています。

ドル防犯という名のもとに日本企業にはインフレーションの風が冷たい秋風とともに吹きすさんでおります。そして新聞・テレビ等には毎日この問題に関係するニュースを大きく取り上げておりまして、これはご承知のことだと思います。

大企業が来年度の承取者の採用を中止すること、また最



議六十五

一般質問
(林君)

一般質問
(青井)

一般質問
(大野)

一般質問
(吉岡)

一般質問
(松山)

議六十五

近の新聞を見ると全国で七十六社、一万五千人の採用を中止
するとか、工場建設を延期するとか大企業が当面のドル防
策にやっきとなさる状態が数道されております。その
ドル防任による変動為替相場制が打ち出さるまで実施さ
れております。この変動為替相場制に対し基地の所福
災いは現在すでに打撃を受けていたものあるには受けてつあるものが
数多くあります。私はこの点について基地に同じ合せてデータ
を省きましてご被露いたしますが、八月十六日のクソン大統領
のドル防任策発表前は横田基地の米軍人軍属の円
の売買は、毎日平均四百三十ドル、日本円で十六万円でありま
した。他のものたちは直接ドルあるはベース前の商店街で
買い物がござましたので日本金としては十六万円の金が大変
が七月上旬は交換してあったのでございまして、発表と同時に
制限されたのでおのずから商品の販路が低下いたしました。た
九月に入り円の為買もゆるやかになったようでありまして、米軍
人軍属もドル防任の国策に協力するのが当然であります。

最近の消費売上げ成績も同様な状態が続いておりまして
ひびけでは現在四割ダウンという結果が出ておるようでござい
ます。そして現在のイナカ軍人軍属の毎日の平均ドル交換率は九
十ドル、三万四千円という数値が出ております。私は基地
周辺および一般商店の方たちと数カ月とせまっております
クリスマスの問題でございまして、このクリスマスを見込んで商
店の方たちは商品の仕入れに頭を悩ましておるのではなかつた
かと心います。また不景気が入るのではなかつたかという消
極論者と強よきの楽観業者と、ひびけの意見でもち
さっている基地周辺および福生市のきょうこの頃ではなかつた
かと心います。

この点につきまして中井小企業者対策を今後どう考えているか
市長より答弁をいただきます。心います。次にただいまのドルシ
ョックに関連性がある問題でございまして、中
小企業振興融資事務、なかむすかし、やこしい書
類を必要としておりますが、この事務の簡素化を考えているか

担当課長からご答弁いただきました。と心います。

ただいまのドラックに關係ある問題でございますが、私はこの不況のもとに年末あるは二、八という年末には相当の人たちが運転資金等の融資を必要とする可能性が充分あると思ひます。

そこで中小企業融資貸付制度にふれてみた。と思ひます。が、ご承知のとおり条例によりまして五千万円以上の融資を希望する場合連帯保証人および信用保証協会の保証を必要とし、そしてその後金融機関等の査定等のレポートを経て貸付が決定されておりますが、なかなかしううとはちよこちよこ書けるな。いはゆる事務手続きになつております。

金融行政は速きものでございす。が、むづかしくもなす。統きたと思ひますが、しかし何かもうと簡単、単はす。統きによつて融資を度ける方法はないものかと常日頃考えるものであります。

それには簡単、な方法で融資を度けられる利ひがあるというお話を承りました。たしかにそれはあります。

福生市議会

という数層でございます。

この制度は利用者にとつては手続きが簡単、なようでございますが、融資金額は少、なの。が、欠点であります。

年々諸物価の値上がりで五千万円未満の融資で運転資金が二分に活用できる。じやうか、この点を考え、いたしまして、中小企業および零細企業者の方たちに真に価値ある制度に改めていただきたいと思ひます。

つそれには条例の改正（そして融資額を五千万円より倍額程度にアップ）していただくことが必要であると考えます。

昨年度の福生の融資状況を述べます。

昨年の市の預託額は二千万円、これに対し利用者は千五件、五百二十万円であった。市の準備する融資額は千四百八十万

円も残りはなつた。その原因は何かというは五千万円未満という運転資金が役に立たない、というところを、ご承知しております。しかし本年初めの内容が改正をされたようでございますが、利用者はすでに千九件、一千万円を突破する状態であります。

どうか金融行政関係には今後いろいろ研究する余地がある。

思いますが、市民の暮らにとり込んだ行政に改善するよう強
く要望いたします。担当課長に内容についてご答弁を願
いたいと思います。

以上で一般質問を終ります。

(市長 石川常太郎君登壇)

。市長(石川常太郎君) 小松議員さんのご質問にお答えいたします。

ドルショックの問題でございますが、八月十七日のドルショックにより
まして日本がたれがれ向わず大きなショックを受けておりまして、
特に福美市といったしますと基地前商店街が一番被害があると思
うしまたご質問の天眼も基地前の商店街をさすものではなかと
想定いたしました。ご承知のように九月と七月にわたる基地内の
ドルの交換をみるとたしかに五分の一に減つておるわけでございます。
なお基地内のPスが西地区の方に近いうちに移るかも知れはという
話しもございます。これは基地内で物品を買いえということだ
と聞いています。

アメリカの国自体がドルの流出を防ぐと同時に国債を強制的とい
うか、国債を買い合わせるわけばいいんだということでございます。預金を
大変よろいにさせられるということでございます。

軍人もその例にもれずやはり毎月貯金、国債を買い合わせるわけ
ばいいわけでございます。その上にドルの価値が下つてしまったと、基地
外に失活する兵隊は家賃と水道や電気代等でも月大体サ
ドルからサドル今まではより多く出るというわけでございます。より出る
ということは今まではよりドルの価値がなくなりましてたぶん今まではより
よげに少なければ失活がでないということでございます。失活が
サドルからサドルよりいにかかるようになつたというわけでございます。
失活費がよげにかかるとしてもんぼねきれて貯金もさせられる、そ
してドルの比率が下つたものですからなかなか失活が容易ではないとい
うことでございます。

大変困つたものでございます。先日ドル不安に対する講習会
を開いたわけでございますがまた近いうちに講習会を催します。

先日農協、振興会、信用金庫、埼玉銀行の支店長